

平成30年度栃木県養護教育研修会開催 (500名参加)

期 日 平成30年6月26日(火)
会 場 栃木県総合文化センター大ホール



- 1 **会長あいさつ** 栃木県養護教育研究会会長 渡邊 恵美子
2 **来賓あいさつ** 栃木県教育委員会事務局 学校安全課長 伊澤 純一 様

3 研究発表

- (1) 「時代に即した保健関係マニュアル
～保健室における危機管理マニュアルと運動器検診マニュアル～」
発表者 那須町立高久小学校 矢野 敏子 先生
那須町立那須中央中学校 増渕 裕子 先生
* 「運動器チェックリスト」の資料をホームページにアップしました。



- (2) 「生涯にわたる健康を目指した健康教育の推進
～運動器検診をきっかけとした姿勢に関する指導～」
発表者 宇都宮市立田原中学校 朝野 直美 先生
宇都宮市立豊郷中学校 高橋 千佳 先生

4 指導・助言

- (1) 「那須町養護教育研究会の取組について」
栃木県教育委員会事務局学校安全課 副主幹 小平 亨子 先生
○那須町養護教育研究会では町教育委員会との連携により「保健関係マニュアル」を作成し、養護教諭及び学校全体の業務改善と適切な保健管理の実施、児童生徒の自己管理能力の育成などに成果を上げており、素晴らしいことです。
○学校においては、マニュアルに記載されていない状況が発生することもあり、その際にも適切な対応が求められますので、マニュアルの作成や活用と併せて、研修等により、場に応じた柔軟な対応力を身に付けておくことも大切です。
- (2) 「宇河地区中学校教育研究会の取組について」
栃木県総合教育センター指導主事 山口 昌子 先生
○本研究では、検診結果や生徒の意識などの状態を把握し、健康な生活や姿勢に関する支援のあり方について、丁寧に検討・考察されていました。
○検診が効果的に実施される体制をつくること、スクリーニングとしての検診を準備し、その結果に基づいた健康教育が有効になされるよう工夫すること、そして、児童生徒の生涯にわたる健康づくりに結びつけること等を目指して、今後、さらなる課題の解決に取り組んでください。

5 講演「現代的な健康課題を抱える子どもたちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」

- 講師 びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科教授 岩崎 信子 先生
- 「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援—養護教諭の役割を中心として」を作成した目的
- ①養護教諭に期待される役割（養護教諭の役割が中心に記載されているが、学校のすべての教職員、専門スタッフも活用が可能）
- ②管理職や学級担任等のすべての教職員が、学校医、SC、SSW等の専門スタッフとも連携した取組
- これさえあれば相談されたときにどうすれば良いかがわかる
- 目の前にいる「健康な子供たち」をより健康にする。「命」の大切さを考えさせる。
- これからの養護教諭には強さと優しさが大切



平成30年度栃木県養護教育研究会総会

今回の研修当番地区は塩谷地区でした。御協力を頂き、ありがとうございました。

